



## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 共和レザー株式会社  
 コード番号 3553 URL http://www.kyowale.co.jp/  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 花井 幹雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 阿部 恵造 TEL 053-425-2121  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月8日 配当支払開始予定日 2021年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	22,793	40.5	758	—	868	—	624	720.9
2021年3月期第2四半期	16,228	△22.5	△117	—	△11	—	76	△86.2

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 911百万円 (—%) 2021年3月期第2四半期 △30百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	25.49	—
2021年3月期第2四半期	3.10	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	52,671	34,011	63.0	1,355.08
2021年3月期	52,642	33,443	62.1	1,334.45

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 33,197百万円 2021年3月期 32,691百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	12.00	—	14.00	26.00
2022年3月期	—	14.00			
2022年3月期（予想）			—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,500	12.9	1,300	△17.3	1,500	△21.4	1,100	△23.7	44.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期2Q	24,500,000株	2021年3月期	24,500,000株
2022年3月期2Q	1,757株	2021年3月期	1,757株
2022年3月期2Q	24,498,243株	2021年3月期2Q	24,498,243株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響もある中、企業収益は回復傾向にあるものの、半導体供給不足や原油価格高騰による原材料高など懸念材料もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当企業グループの連結売上高は227億9千3百万円と前年同期（162億2千8百万円）に比べ40.5%の増加となりました。

売上高を用途別にみますと、車両用につきましては、主として当社の主要顧客である自動車メーカーからの受注回復などにより、194億8千5百万円と前年同期（137億2千8百万円）に比べ41.9%の増加となり、住宅・住設用につきましては、15億1千2百万円と前年同期（13億5百万円）に比べ15.9%の増加となり、ファッション・生活資材用につきましては、17億9千4百万円と前年同期（11億9千4百万円）に比べ50.2%の増加となりました。

利益面につきましては、売上高の増加による影響が大きく、連結経常利益は8億6千8百万円（前年同期 連結経常損失1千1百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億2千4百万円と前年同期（7千6百万円）に比べ720.9%の増加となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ0.1%増加し、526億7千1百万円となりました。

資産の部では、流動資産は前連結会計年度末に比べ1.8%減少し、287億6千9百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金が減少したことによります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ2.4%増加し、239億1百万円となりました。これは主として機械装置及び運搬具（純額）が増加したことによります。

負債の部では、流動負債は前連結会計年度末に比べ2.9%減少し、161億1千1百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が減少したことによります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ2.3%減少し、25億4千7百万円となりました。これは主として役員退職慰労引当金が減少したことによります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ1.7%増加し、340億1千1百万円となりました。これは主として四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきまして修正を行っております。詳細は本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,063	11,174
受取手形及び売掛金	10,291	7,567
電子記録債権	3,117	3,375
有価証券	1,599	1,502
商品及び製品	2,233	3,168
仕掛品	735	679
原材料及び貯蔵品	923	991
その他	493	481
貸倒引当金	△159	△171
流動資産合計	29,299	28,769
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,648	3,603
機械装置及び運搬具（純額）	5,289	5,501
土地	3,716	3,716
建設仮勘定	507	407
その他（純額）	521	525
有形固定資産合計	13,683	13,754
無形固定資産		
のれん	37	13
ソフトウェア	105	94
その他	218	241
無形固定資産合計	361	349
投資その他の資産		
投資有価証券	6,626	6,860
長期貸付金	44	40
繰延税金資産	850	939
退職給付に係る資産	664	715
その他	1,136	1,265
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	9,297	9,797
固定資産合計	23,343	23,901
資産合計	52,642	52,671

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,093	6,623
電子記録債務	4,752	4,899
短期借入金	698	496
未払金	1,612	1,237
未払法人税等	350	375
役員賞与引当金	67	31
資産除去債務	11	9
その他	2,005	2,437
流動負債合計	16,592	16,111
固定負債		
役員退職慰労引当金	190	156
退職給付に係る負債	2,217	2,219
資産除去債務	15	15
その他	183	156
固定負債合計	2,607	2,547
負債合計	19,199	18,659
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,810	1,810
資本剰余金	1,654	1,654
利益剰余金	28,287	28,568
自己株式	△0	△0
株主資本合計	31,750	32,032
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	328	427
為替換算調整勘定	289	441
退職給付に係る調整累計額	322	295
その他の包括利益累計額合計	940	1,164
非支配株主持分	751	814
純資産合計	33,443	34,011
負債純資産合計	52,642	52,671

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	16,228	22,793
売上原価	13,582	18,577
売上総利益	2,645	4,215
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	995	1,139
役員賞与引当金繰入額	38	32
役員退職慰労引当金繰入額	18	21
運賃及び荷造費	409	837
その他	1,301	1,425
販売費及び一般管理費合計	2,763	3,457
営業利益又は営業損失(△)	△117	758
営業外収益		
受取利息	6	4
受取配当金	20	22
持分法による投資利益	82	77
固定資産売却益	75	3
その他	43	47
営業外収益合計	228	154
営業外費用		
支払利息	18	19
為替差損	14	2
固定資産除却損	49	11
売上割引	9	—
その他	29	10
営業外費用合計	122	44
経常利益又は経常損失(△)	△11	868
特別利益		
助成金収入	229	12
特別利益合計	229	12
特別損失		
休業手当	244	13
特別損失合計	244	13
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△26	867
法人税等	△32	237
四半期純利益	5	630
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△70	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	76	624

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	5	630
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	67	98
為替換算調整勘定	△67	143
退職給付に係る調整額	△16	△27
持分法適用会社に対する持分相当額	△19	65
その他の包括利益合計	△36	280
四半期包括利益	△30	911
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	65	848
非支配株主に係る四半期包括利益	△96	62



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において342百万円の剰余金の配当を行っております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高および営業利益に与える影響は軽微です。また、経常利益および四半期純利益ならびに利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」

（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。

これによる、四半期連結財務諸表への影響は軽微です。